

鎌

Shichirigahama

七里ガ浜



土地に
刻まれた痕跡。



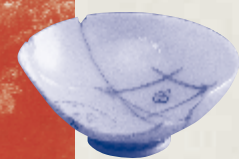
Kenchoji Sanmon

建長寺山門



春季企画展

災室



Eishouji

英勝寺



2019

1.4 (fri) > 5.18 (sat)

開館時間 / 午前10時～午後4時(入館は午後3時30分まで)

休館日 / 日曜・祝日

観覧料 / 一般 300 [210]円 小・中学生 100 [70]円*

主催 / 鎌倉歴史文化交流館(鎌倉市教育委員会)

住所 / 〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1

電話 / 0467-73-8501

*[]内は20名以上団体料金

*鎌倉市内の小・中学生と、市内の65歳以上の方、または障がい者手帳等の交付を受けた方と付き添い1名は無料となりますので、受付に学生証・福寿手帳等を呈示してください。

www.city.kamakura.kanagawa.jp/rekibun/koryukan.html

復興と



Sakanosita

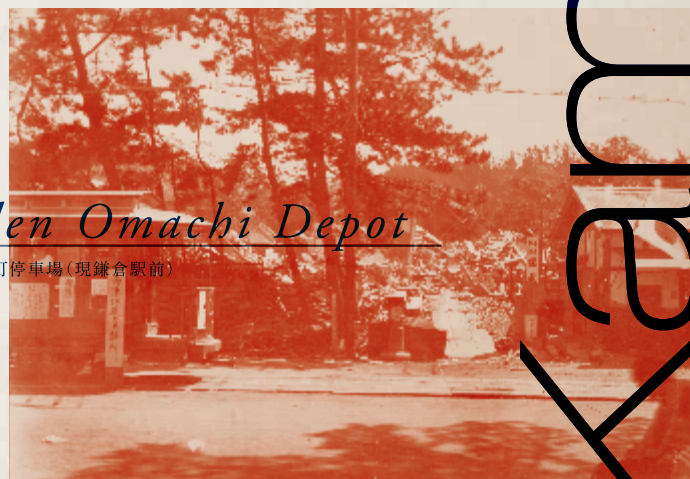
坂ノ下

倉



Enoden Omachi Depot

江ノ島電鉄大町停車場(現鎌倉駅前)



鎌倉歴史文化交流館
Kamakura Museum of History and Culture

rekibun koryukan

鎌

春季企画展

災害と

復興

倉

土地に刻まれた痕跡。

Kamakura disaster

大正12年(1923)9月1日の大正関東地震は、発生から昨年で95年が経過しました。鎌倉は震源域に近く、そのため激震や津波を受けて、その全域がほぼ壊滅したことは知られています。

鎌倉が激甚災害に見舞われたのは、近代に限ったことではありません。中世の一時期政権都市であった当地は、『吾妻鏡』文治4年(1188)窟堂(岩屋堂)付近の火災記事を始めとして、同書建久2年(1191)の記録以降地震に関する記述が史料に散見するなど、長い歴史の中で繰り返し災害や戦乱に遭遇し、その都度復興されました。そのことを伝えたのは主に文献史料ですが、さらに近年では、発掘調査の事例などで、火災や地震等過去の災害痕跡が確認されています。

そこで今回の企画展では、市内の発掘調査で得られた中世鎌倉の災害痕跡を紹介し、あわせて近代に発生した大地震の写真や被災資料などを展観して、当地における災害痕跡や被災状況等を辿ります。



1.江ノ島電鉄大町停車場(現鎌倉駅前)【鎌倉国宝館】 2.英勝寺【鎌倉国宝館】 3.建長寺山門【鎌倉国宝館】
4.坂ノ下津波の跡【鎌倉市中央図書館】 5.七里ガ浜【鎌倉市中央図書館】 6.永福寺跡出土瓦(火災) 7.永福寺跡出土品(火災) 8.大正地震被災資料

鎌倉歴史文化交流館

開館時間／午前10時～午後4時(入館は午後3時30分まで) 休館日／日曜・祝日

観覧料／一般 300 [210] 円 小・中学生 100 [70] 円※

主催／鎌倉歴史文化交流館(鎌倉市教育委員会)

住所／〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1 電話／0467-73-8501

HP／www.city.kamakura.kanagawa.jp/rekibun/koryukan.html

※ []内は20名以上団体料金

*鎌倉市内の小・中学生と、市内の65歳以上の方、または障がい者手帳等の交付を受けた方と付き添い1名は無料となりますので、受付に学生証・福寿手帳等を呈示してください。

アクセス／JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分

*一般用の駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。

*障がい者等用駐車場をご利用の方は事前にご連絡ください。



©Forward Stroke inc

